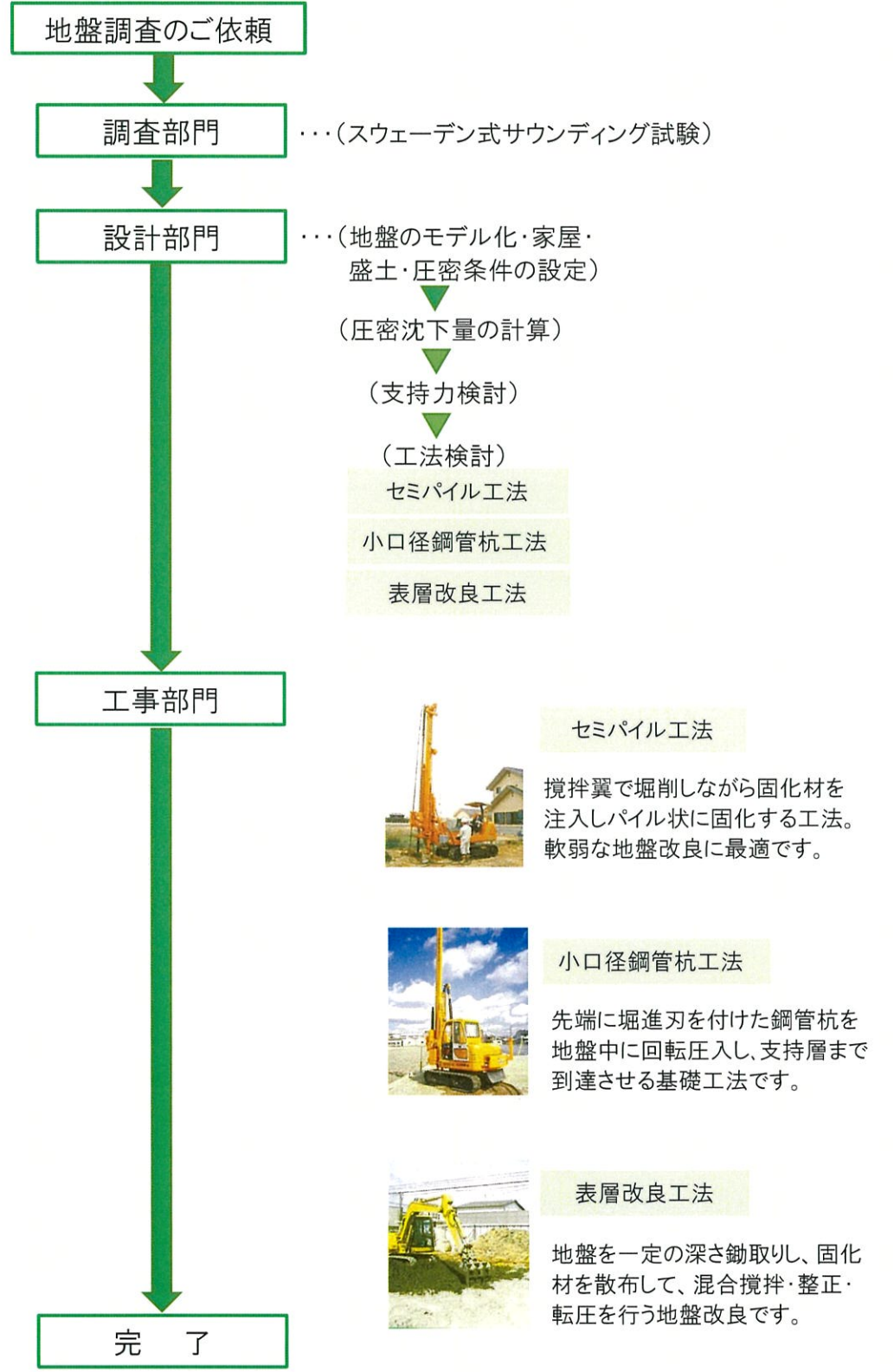


地盤改良のご案内

当社は、地盤の調査から施工までを一貫したシステムをトータル対応しています。



セミパイル工法



攪拌翼で掘削しながら固化材を注入しパイル状に固化する工法。軟弱な地盤改良に最適です。

小口径鋼管杭工法



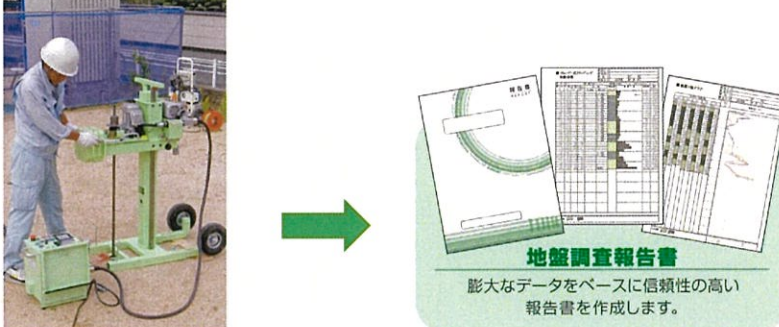
先端に掘進刃を付けた鋼管杭を地盤中に回転圧入し、支持層まで到達させる基礎工法です。

表層改良工法



地盤を一定の深さ掘取り、固化材を散布して、混合攪拌・修正・転圧を行う地盤改良です。

【調査】



スウェーデン式サウンディング試験

地盤調査報告書

膨大なデータをベースに信頼性の高い報告書を作成します。

【設計】

● 敷地造成状況を考慮して、設計することができます。
● 建物の沈下量や支持力をコンピュータで迅速に計算します。
● 安全性・施工性・経済性を考慮し、最適なご提案をします。

地盤調査柱状図

調査により得られた結果をモデル化し、「N-MASTER」に入力します。

無対策ケース

工期 11年9ヵ月

軟弱な粘性土

● 荷も対策をせずに住宅を建てると、大きな沈下量が発生する場合があります。

対策工法(セミパイル)施工ケース

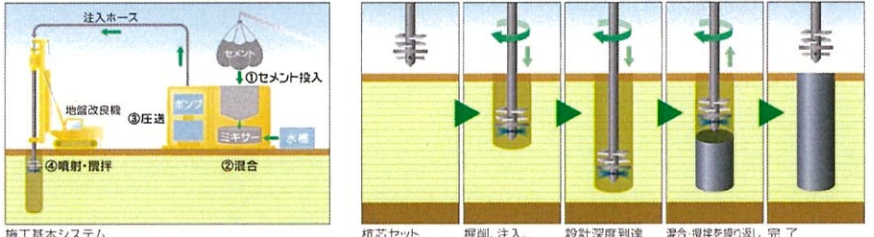
工期 1年6ヵ月

● 適切な検討を行えば、沈下を抑えることができます。

【施工】

<セミパイル工法>

ロッドの先端に独自の形状を持つ攪拌翼を取り付け、現状地盤とセメントスラリーを混合・攪拌しながら改良していきます。予定深度まで改良し終わると引き続き混合・攪拌を繰り返しながら引き上げます。



施工基本システム

①セメント投入

②圧送

③噴射・攪拌

④混合

⑤噴射・攪拌

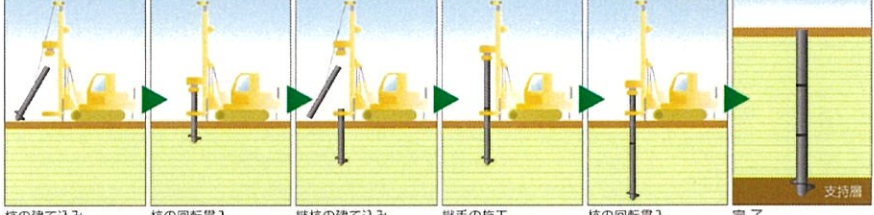
⑥混合

⑦完了

⑧引き上げ

<小口径鋼管杭工法>

マシンに杭を取り付け、回転させながら羽根の推進力で地盤に貫入させていきます。1本目の杭を打ち終えたら2本目を溶接により接合し、回転貫入させます。この作業を繰り返し、杭が支持層まで到達したら杭頭を所定の高さで切断します。



杭の建て込み

杭の回転貫入

継杭の建て込み

継手の施工

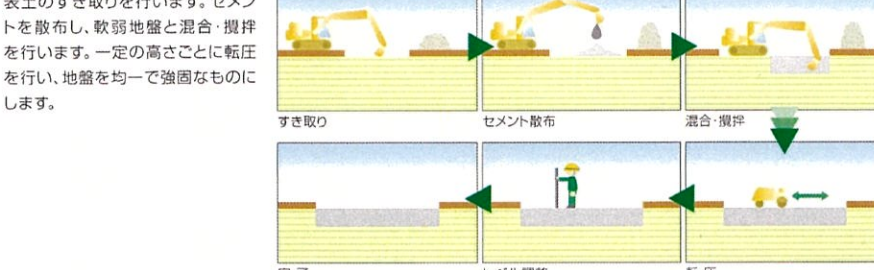
杭の回転貫入

完了

支持層

<表層改良工法>

表土のすき取りを行います。セメントを散布し、軟弱地盤と混合・攪拌を行います。一定の高さごとに転圧を行い、地盤を均一で強固なものにします。



すき取り

セメント散布

混合・攪拌

完了

レベル調整

転圧